



Title	『鳥歌合』（翻刻）
Author(s)	伊井，春樹
Citation	詞林. 1998, 23, p. 46-57
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/67416">https://doi.org/10.18910/67416</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 『鳥歌合』（翻刻）

期大学に御札を申し上げる。

ここに紹介する大阪青山短期大学蔵「鳥歌合」は、新出の資料であり、興味深い内容だけに、ここに全文の翻刻をし、別に山崎淳氏の論考を収めることにした。本書は、タテ二七・八、ヨコ一九・五センチの一冊、表紙は茶の無地、中央に「鳥譜合 全」とする題簽、楮紙、袋綴本、一面一行書きである。内題は「鳥歌合」とし、一番左の「鶯」、右「鶴鶴」から、十八番までの三六首、巻末には次のような識語が付される。

時に宝永五つちのえ子のとし十二月十と八日  
終日雪ふりける日うつし畢ぬ

志氣飛路

とする。現存本は、この折の書写と考えられるが、成立等は山崎氏の考証に、また内容については、別に論じたく思つてゐる。

なお、翻刻に際しては、できるだけ原本の復元に務め、一行の文字数もそのままとし、また歌については便宜のため通し番号を付した。翻刻をお許しいただいた大阪青山短

伊井 春樹

web公開に際し、翻刻は省略しました

(いい・はるき)